令和2年度 第 9 報（12月3日）

三重県のり情報

発行　三重県漁業協同組合連合会
指導部

住所　三重県津市広明町323-1
Tel　059-228-1205
HP　http://www.miegyoren.or.jp/

（海況情報）12月2日調査時点

【水温】 各漁場の水温は15.7～18.4℃です。
【プランクトン】 目立った発生漁場はありません。
【栄養塩量】
桑名で十分量、鈴鹿地区の一部で極端に少なく、その他の地区で少なく～やや少なくなっています。
【潮位情報】 名古屋港の潮位偏差・毎時偏差速報値（気象庁）
予測潮位に比べて－7cm～+7cmで推移。
1日0:00－12:00時点

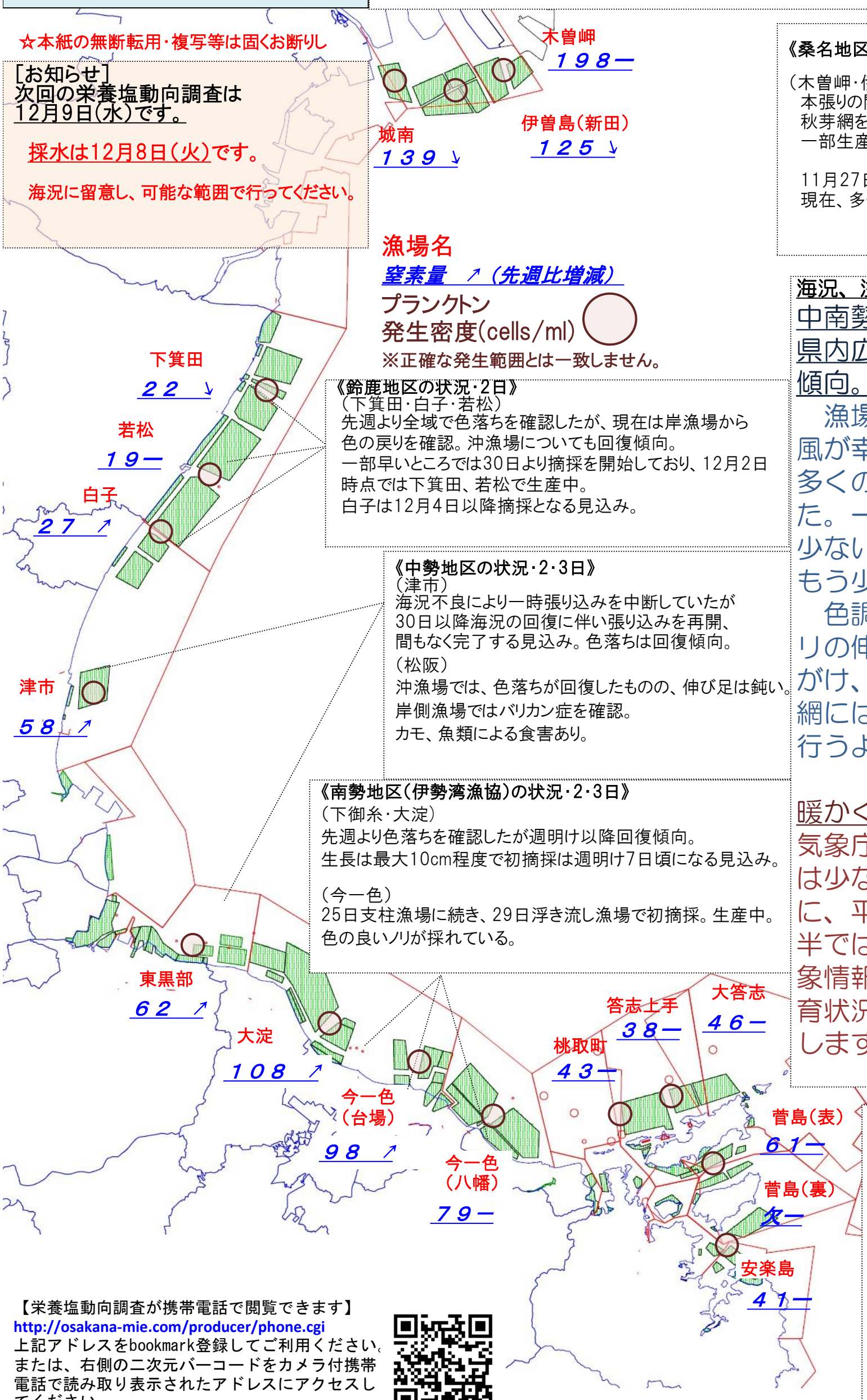
★情報収集、普及活動、試験分析担当
＜桑名～南勢明和＞津農林水産事務所水産室 (tel)059-223-5128
＜南勢伊勢～鳥羽＞伊勢農林水産事務所水産室(tel)0596-27-5189
＜鳥羽＞鳥羽市水産研究所
(tel)0599-25-3316
＜試験分析等＞
三重県水産研究所鈴鹿水産研究室
(tel)059-386-0163

☆本紙の無断転用・複写等は固くお断りし

［お知らせ］
次回の栄養塩動向調査は
12月9日(水)です。

採水は12月8日(火)です。

海況に留意し、可能な範囲で行ってください。



漁場名
窒素量 ↗（先週比増減）
プランクトン
発生密度(cells/ml)
※正確な発生範囲とは一致しません。

《桑名地区の状況・2日》

（木曽岬・伊曽島・城南）
本張りの開始は、海況を見ながら12月9日以降を予定。
秋芽網を実施している地区は、本養殖を継続中。
一部生産者では食害対策として防除網を試行。

11月27日よりアサクサノリの張り込みを開始。
現在、多くの生産者で8枚→4枚張りへ展開中。

《鈴鹿地区の状況・2日》
（下箕田・白子・若松）
先週より全域で色落ちを確認したが、現在は岸漁場から色の戻りを確認。沖漁場についても回復傾向。
一部早いところでは30日より摘採を開始しており、12月2日時点では下箕田、若松で生産中。
白子は12月4日以降摘採となる見込み。

《中勢地区の状況・2・3日》
（津市）
海況不良により一時張り込みを中断していたが30日以降海況の回復に伴い張り込みを再開、間もなく完了する見込み。色落ちは回復傾向。
（松阪）
沖漁場では、色落ちが回復したものの、伸び足は鈍い。
岸側漁場ではバリカン症を確認。
カモ、魚類による食害あり。

《南勢地区（伊勢湾漁協）の状況・2・3日》
（下御糸・大淀）
先週より色落ちを確認したが週明け以降回復傾向。
生長は最大10cm程度で初摘採は週明け7日頃になる見込み。

（今一色）
25日支柱漁場に続き、29日浮き流し漁場で初摘採。生産中。
色の良いノリが採れている。

海況、注意点等

中南勢地区で栄養塩回復の兆し、県内広域で発生した色調低下は回復傾向。

漁場栄養塩量は先週末の強い北西風が幸いしてやや増加、それに伴い多くの漁場で色戻りが確認されました。一方、鈴鹿地区では依然として少ない状況にあり、十分な回復にはもう少し時間を要しそうです。

色調回復が見られた漁場では、ノリの伸長促進のために早期摘採を心がけ、スイクダムシ等付着物の多い網には通常濃度での活性処理を適宜行うようにして下さい。

暖かく、雨の少ない日が続く。

気象庁の2週間予報によれば、降水量は少なく、最高気温、最低気温ともに、平年並か平年より高く、期間後半ではかなり高くなる予想です。気象情報をこまめに確認し、ノリの生育状況に応じた生産計画をお願い致します。

《鳥羽地区の状況・2日》

（桃取）
12月2日までに本張り完了。本養殖開始。
強風の日が続き、出漁できない日が多い。
今のところ目立った色落ちはなし。

（答志）
12月2日までに本張り完了。本養殖を開始。
今のところ目立った色落ちはなし。

（菅島）
秋芽網は摘採3回目生産中。
色落ちは回復傾向。
12月2日までに冷凍網の本張りを完了。
本養殖開始。

【栄養塩動向調査が携帯電話で閲覧できます】
http://osakana-mie.com/producer/phone.cgi
上記アドレスをbookmark登録してご利用ください。
または、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。
＊機種によっては利用できない場合があります。

☆ノリ情報はweb上で閲覧されることをお奨めします。※PDFファイルをご覧になるには、アドビシステムズ社のAdobe Reader